

電気製品からの出火に注意してください！

新型コロナウイルスの影響で、身の回りのものを清潔に保とうとする機運が高まるなか、エアコン内部の洗浄(液状の洗浄剤などを噴霧し、機器内部の汚れを洗い流すこと。)を自ら行うことによる火災が増えています。

原因として、エアコンを洗浄したときに、エアコン内部の配線の端子部に洗浄液が付着することにより、端子部でトラッキング現象が起こり、異常な発熱が生じ、出火に至ったと考えられます。

また、古い扇風機の部品が劣化して発火する事故が毎年のように発生していますので、使用する前に製品に異常がないかを確認するとともに、コンセントやコードの状況についても確認し、火災を未然に防ぎましょう。

【エアコン内部の洗浄に注意してください】

- ① エアコン内部の洗浄は、購入先である販売店やメーカーのサービス窓口などの正しい知識を持った業者に相談してください。
- ② エアコン内部を洗浄するときは、絶対に電気部品に洗浄液がかからないように注意してください。
- ③ 発火・破損のおそれがあるため、消毒用アルコールなど可燃性の溶液や次亜塩素酸ナトリウムなど腐食性のある溶液で内部を掃除しないでください。



【製造から長期間経過した扇風機の症状に注意してください】

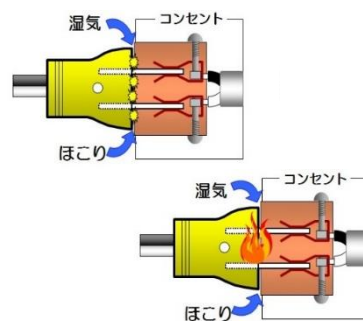


- ① スイッチを入れても、ファンが回らない。
- ② ファンが回っても、回転が異常に遅かったり不規則である。
- ③ ファンが回転するときに異常な音や振動がする。
- ④ モーター部分が異常に熱かったり、焦げくさいにおいがする。
- ⑤ 電源コードが折れ曲がったり、破損したりしている。



【トラッキング現象】

コンセントに差し込んだプラグの周辺に綿ぼこりや湿気などが付着することにより、差し込みプラグの刃の間に電流が流れ、火花放電を繰り返すことで、炭化して出火する現象です。これと同じ現象がエアコン内部の配線の端子部で発生することとなります。



使用するときには、適切な取扱いをしましょう！

【製品火災等に関する情報サイト(nite)】

<https://www.nite.go.jp/index.html>

